

消 防 年 報

令 和 7 年

第 52 号

茨 城 町 消 防 本 部



町章

「茨」の文字を図案化したものです。鋭角は町の発展を表し、円は町の融和を象徴しています。

◎茨城町民憲章

わたくしたちは、美しい自然と、豊かな大地にはぐくまれて、限らない躍進をつづける茨城町の仲間です。美しく愛に満ちた郷土づくりに、責任と誇りをもって参加するため、ここに町民憲章を定めます。

1. ふるさとの自然を守り、美しい環境の町を作りましょう。
1. からだをきたえ、教養を高めて、健やかな町を作りましょう。
1. 隣人や家庭の愛を大切にして、真心の通い合う、町を作りましょう。
1. 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町を作りましょう。
1. 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町を作りましょう。

◆ 町の花 桜



◆ 町の木 梅



◆ 町の鳥 ウグイス



は し が き

本書は、茨城町消防の現勢及び令和6年1月1日から令和6年12月31日までの消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の資とするため、編集したものであります。

この統計は、令和6年12月末日現在をもって作成したものでありますが、これによらないものについては、それぞれ記載した年月日現在により作成したものであります。

令和7年7月

茨城町消防本部

目 次

茨 城 町 民 憲 章	1
は し が き	2
目 次	3
概 要	4
1. 茨城町の沿革	5
2. 町 勢	6
3. 茨城町消防の沿革	7
総 務	30
1. 組織及び機構	31
2. 消防本部・消防署事務分掌	32
3. 予 算 関 係	34
4. 職 員 関 係	35
5. 消 防 団 関 係	37
6. 機械装備関係	39
予 防	45
1. 危 険 物 関 係	46
2. 建築同意関係	48
3. 防火対象物関係	50
4. 諸 届 出 関 係	51
警 防	52
1. 火 災 関 係	53
2. 消防水利関係	57
3. 救 急 関 係	58
4. 気 象 関 係	62
5. 消防無線関係	63

概 要

1. 茨 城 町 の 沿 革

本町は、今から約1600年前の古代縄文・弥生の時代から文化が発生し、国指定遺跡となった小幡北山埴輪製作遺跡のほか、宝塚古墳・上ノ山古墳などの遺跡を残しています。関東平野特有の平地林にかこまれ、静かな潤沼を抱えた本町は、首都圏の中でも自然的景観に恵まれた地域で、湖面9km²の潤沼は、淡水魚・海水魚の共生地、多くの野鳥、また、ヒヌマイトトンボの生息地として知られ、県立自然公園となっていて、平成27年5月にラムサール条約湿地に登録されました。

近世に入り、農業に適した肥沃な土地と交通の要所として発展を続け、昭和30年に長岡・川根・上野合・沼前の4ヶ村が合併して茨城町が誕生し、3年後の昭和33年に石崎村を編入合併し現在の町域となり、県下でも面積や人口規模では有数の町となっています。

また、昭和40年代に入り、国道6号バイパスの開通や都市計画区域の指定、市街化区域及び市街化調整区域（線引き）の指定がされるなど、着実な都市化の基盤づくりを進めてきました。

近年は北関東自動車道及び東関東自動車道の開通に伴い、茨城中央工業団地・茨城工業団地への企業進出が相次ぎ、都市機能と自然環境が調和した町が形成されつつあります。

2. 町 勢

(1) 町の位置及び面積



東経 140度27分 北緯 36度57分

東西 17.0km 南北 14.0km

海拔 20～31m

面積 121.64km²

(2) 人口の推移

年 \ 区分	世帯数	人口		
		総数	男	女
令和3年	13,317	32,022	16,062	15,960
令和4年	13,240	31,296	15,642	15,654
令和5年	13,305	30,827	15,457	15,370
令和6年	13,502	30,784	15,463	15,321
令和7年	13,615	30,523	15,317	15,206

3. 茨城町消防の沿革

昭和 30 年	2月 11日、町制施行により、旧長岡村・川根村・上野合村・沼前村の消防団が統合し、茨城町消防団を設置する。団員数2,400名、初代団長に木村健治氏、就任する。
昭和 31 年	6月 消防団の機構改革が行われ、支団制をとり1団4支団とし、団員数1,800名となる。
昭和 32 年	6月 三輪ポンプ自動車(チャイアント)1台購入し、駒場に配置する。
昭和 33 年	3月 旧石崎村が編入し、5支団となり団員数2,154名となる。 7月 四輪ポンプ自動車(ジープ)1台購入し、下土師に配置する。
昭和 34 年	2月 三輪ポンプ自動車(チャイアント)1台購入し、秋葉に配置する。 6月 消防団の機構改革が行われ支団制を廃止し、分団制をとり1団34分団となり、団員数1,053名となる。
昭和 35 年	1月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・野口ポンプ)2台購入し、宮ヶ崎、中石崎に配置する。 2月 三輪ポンプ自動車(チャイアント)1台購入し、長岡に配置する。 12月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・野口ポンプ)1台購入し、小堤に配置する。
昭和 37 年	4月 消防団の機構改革が行われ、分団を5分団にし、部制をとり5分団15部とする。団に団本部員を置く。団員数1,008名となる。 9月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・日本機械)2台購入し、前田、小幡に配置する。
昭和 38 年	6月 消防団の機構改革が行われ、5分団20部制にし、いままで町消防団員とみなしていた自衛消防団員を分離する。 11月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・森田ポンプ)1台購入し、下石崎に配置する。
昭和 39 年	9月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・森田ポンプ)1台購入し、南川又に配置する。
昭和 40 年	5月 小型動力消防ポンプ付積載車(トヨタ・ラビットポンプ)1台購入し、野曾に配置する。 9月 消防団の機構改革が行われ、団員数304名となる。 四輪ポンプ自動車(ニッサン・森田ポンプ)1台購入し、若宮に配置する。 12月 小型動力消防ポンプ付積載車(トヨタ・トーハツポンプ)1台購入し、下雨ヶ谷に配置する。
昭和 41 年	10月 四輪ポンプ自動車(ニッサン・森田ポンプ)1台購入し、小鶴に配置する。

昭和 42 年	3月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）1台購入し、常井に配置する。 4月 清水源五氏消防団長に就任する。 10月 昼間時の消防力充実のため、役場消防隊を設置する。（隊員数18名で県立消防学校において4日間の訓練を受ける。）ポンプは、第4分団第1部（小堤）のものを使用する。 四輪ポンプ自動車（ニッサン・森田ポンプ）1台購入し、秋葉に配置する。
昭和 43 年	6月 消防団の機構改革が行われ、団員数311名となる。 11月 水槽付消防ポンプ自動車（トヨタ・森田ポンプ）水量1,700リットル1台購入し、役場消防隊に配置する。
昭和 44 年	4月 救急業務を実施する。 6月 消防団の機構改革が行われ、団員数331名となる。 8月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）2台購入し、海老沢、上石崎に配置する。
昭和 45 年	3月 救急自動車（ニッサン）購入する。 5月 小型動力消防ポンプ付積載車（トヨタ・トーハツポンプ）2台購入し、駒場、鳥羽田に配置する。
昭和 46 年	4月 荻津正夫氏消防団長に就任する。 8月 四輪ポンプ自動車（ニッサン・森田ポンプ）1台購入し、下土師に配置する。 9月 消防本部（署）設置の要望書を県に提出する。 11月 石崎正氏消防団長に就任する。 12月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車1台購入し、役場消防隊に配置する。前使用の水槽付消防ポンプ自動車は長岡に配置する。
昭和 47 年	2月 東茨城郡消防総合演習開催される。 4月 消防本部（署）設置の政令指定を受ける。 消防吏員8名採用する。 7月 消防吏員12名採用する。 9月 水戸市消防本部より、消防司令1名（坂場鶴吉氏）派遣を受ける。 消防吏員1名採用する。 10月 消防本部（署）職員24名で役場2階（仮庁舎）において、業務を開始する。（水槽付消防ポンプ自動車1・救急自動車1） 荻津正夫氏、消防長事務取扱に就任する。 坂場鶴吉氏、次長兼署長に就任する。 役場消防隊を解散する。

	11月 消防吏員1名採用し、25名となる。 奥谷地内に消防庁舎の新築工事始まる。 (総工費53,500,000円・鉄筋コンクリート2階建) 第1回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部(下土師) 準優勝 第3分団第3部(小幡) 小型ポンプの部 優 勝 第4分団第2部(駒場) 準優勝 第2分団第2部(野曽) 指令車、広報車購入する。 12月 消防吏員1名採用し、26名となる。 消防ポンプ自動車(BS-I型)2台購入し、消防署、第3分団第2部 (鳥羽田)に配置する。前使用の小型動力ポンプ付積載車は、奥谷 に配置する。 消防用超短波無線(日本無線JHV214)設置する。 (基地局1・移動局2・携帯局6)
昭和 48 年	2月 消防用超短波無線(JHV214)2基設置する。(ポンプ自動車、広報車 に装備) 防火水槽(40m³級)5基設置する。(長岡・駒渡・生井沢・駒場・ 上石崎) 4月 消防吏員3名採用し、29名となる。 消防団の機構改革が行われ、団員数283名となる。団本部に庶務班・ 消防班を置く。 7月 消防庁舎が完成し、新庁舎へ移転する。 9月 小型動力消防ポンプ付積載車1台購入し、第1分団第3部(常井)に配 置する。 新築消防庁舎の竣工式を挙げる。 11月 第2回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部(下土師) 準優勝 第5分団第3部(下石崎) 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部(野曽) 準優勝 第1分団第3部(常井) 12月 小型動力消防ポンプを購入し、消防署に配置する。
昭和 49 年	1月 消防吏員1名採用し、30名となる。 3月 第24回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部(下土師) 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部(野曽) 防火水槽(40m³級)3基設置する。(木部・海老沢・中石崎)

	4月 水戸市より派遣の次長兼署長、坂場鶴吉氏帰任する。 佐藤義男氏、次長兼署長に就任する。 消防吏員1名役場へ配置替えとなる。 消防吏員3名採用する。 7月 消防吏員1名退職する。 9月 小型動力消防ポンプ付積載車1台購入し、第3分団第4部(下雨ヶ谷)に配置する。前使用のポンプは、自衛消防団(神宿)に、自動車は消防署に配置する。 関東ブロック消防救助技術大会が横浜市で開催され、茨城県代表として署員1名が参加する。 10月 消防副士長6名を任用する。 第29回国民体育大会ピストル競技場(県警察学校)の警備を実施する。 11月 消防吏員1名退職する。
昭和 50 年	3月 第25回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 3 位 第5分団第3部(下石崎) 小型ポンプの部 準優勝 第1分団第3部(常井) 石崎正氏、消防団長退任する。 4月 黒崎富弥氏、消防団長に就任する。 消防吏員1名役場へ配置替えとなる。 消防吏員6名採用する。 8月 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車(BS-I型)購入し、第4分団第3部(宮ヶ崎)に配置する。 9月 防火水槽(40m³級)3基設置する。(矢頭・駒場・神宿) 11月 電源立地促進対策事業により、消防ポンプ自動車(BS-I型)2台購入し、第5分団第1部(中石崎)、消防署に配置する。 第3回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部(下土師) 準優勝 第3分団第3部(小幡) 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部(常井) 準優勝 第2分団第2部(野曽) 12月 第26回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部(小幡) 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部(常井)
昭和 51 年	4月 消防団機構改革が行われ、5分団19部とし、団員数270名となる。 第4分団第1部(小堤)廃止となる。 消防署使用の小型動力ポンプを自衛消防団(小堤)に配置する。 7月 消防署予備ポンプ車を第1分団第2部(前田)に配置する。

	9月 防火水槽（40m³級）5基設置する。（小鶴・南川又・神谷・鳥羽田・網掛） 10月 電源立地促進対策事業により、消防ポンプ自動車（BS-I型）2台購入し、第3分団第3部（小幡）、第5分団第3部（下石崎）に配置する。 11月 電源立地促進対策事業により、消防署に救急自動車購入する。
昭和 52 年	3月 第27回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 準優勝 第2分団第2部（野曽） 4月 消防吏員4名採用する。 5月 消防吏員1名退職する。 8月 防火水槽（40m³級）4基設置する。（宮ヶ崎・長岡・近藤・上石崎） 11月 消防吏員1名退職する。 12月 小型動力消防ポンプを購入し、消防署に配置する。 第28回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 準優勝 第1分団第1部（長岡） 小型ポンプの部 優 勝 第5分団第3部（下石崎）
昭和 53 年	3月 自治体消防30周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 4月 消防司令補1名、消防士長4名任用する。 消防吏員5名採用する。 小型動力消防ポンプ積載車を購入し、第2分団第2部（野曽）に配置する。 10月 消防副士長6名任用する。 国庫補助事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置する。 防火水槽（40m³級）5基設置する。（長岡（2基）・越安・大山原・下土師） 下石崎水防倉庫（這坂）老朽化に伴い、下石崎「秋の月町営駐車場」に移転する。 11月 第4回茨城町消防団ポンプ操法大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部（下土師） 準優勝 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第1分団第3部（常井） 12月 第29回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 3 位 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽）

	消防署使用水槽付消防ポンプ自動車（46年車）を長岡に配置する。 消防用超短波無線（10w）2基（指令車・予備救急車へ装備）設置する。
昭和 54 年	3月 黒崎富弥氏、消防団長退任する。 関根利雄氏、消防団長代理に就任する。 荻津正夫氏、消防長事務取扱退任する。 皆川弘次氏、消防長事務取扱に就任する。 広報車を購入する。 4月 関根利雄氏、消防団長に就任する。 8月 指令車を更新する。 第1回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会を開催し、19チーム参加する。 11月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を1台購入し、第4分団第4部（海老沢）に配置する。旧車両に積載の小型動力消防ポンプを署が保管する。 12月 第30回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 3 位 第1分団第3部（常井） 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）6基設置する。（秋葉・小幡・前田・宮ヶ崎・野曽・上石崎）
昭和 55 年	3月 防火水槽（40m³級）1基設置する。（秋葉） 4月 小型動力消防ポンプを購入し、第2分団第2部（野曽）に配置する。 5月 署保管の小型動力消防ポンプを自衛消防（馬渡）に配置する。 7月 救急自動車（2B型）を購入する。 皆川弘次氏、消防長事務取扱退任する。 8月 佐藤義男氏、消防長に就任する。 救急自動車2台運用開始する。 消防連絡車を購入する。 第2回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会を開催し、20チーム参加する。 11月 第5回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽） 12月 第31回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）5基設置する。（奥谷・

		海老沢・下石崎・中石崎・下雨ヶ谷) 国庫補助事業により、防火水槽（20m ³ 級）1基設置する。（宮ヶ崎）
昭和 56 年	8月	第3回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BS- I 型）1台を購入し 第2分団第3部（南川又）に配置する。
	10月	国庫補助事業により、防火水槽（40m ³ 級）3基設置する。（長岡・ 下土師・木部）
	12月	第32回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 準優勝 第1分団第3部（常井）
昭和 57 年	6月	役場町長公室秘書係長坂場昭廣氏、署次席兼総務係長に就任する。
	8月	第4回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	防衛庁基地対策事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基設置する。 （神谷・城之内・宮ヶ崎・上石崎・中石崎） 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型・BS- I 型） 2台を購入し、消防署及び第5分団第4部（若宮）に配置する。 第6回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽）
	10月	第33回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 小型ポンプの部 準優勝 第2分団第2部（野曽）
昭和 58 年	7月	関東地区救助技術大会ロープ応用登はんの部に署員2名参加する。 （開催地 埼玉県立消防学校）
	8月	第5回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BS- I 型）1台を購入し 第1分団第4部（小鶴）に配置する。
	11月	第34回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第1部（秋葉） 小型ポンプの部 準優勝 第4分団第2部（駒場）
昭和 59 年	2月	国庫補助事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基設置する。（奥谷・ 大戸・長岡・小幡・上飯沼南部）
	4月	本部組織の改革により、5係とする。 消防司令補2名、消防士長4名、消防副士長6名任用する。
	8月	第6回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	第7回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第1分団第4部（小鶴）

	準優勝 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第1分団第3部（常井） 10月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（BS-Ⅰ型）1台購入し、第3分団第1部（秋葉）に配置する。 第35回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催する。（茨城町当番） 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 12月 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）3基設置する。（小堤・宮ヶ崎・南島田）単独事業により、2基設置する。（下土師・小鶴）
昭和 60 年	4月 本部組織の改革により、5係から4係とする。 8月 第7回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急自動車（2B型）を購入する。 10月 第36回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井）
昭和 61 年	2月 茨城町消防団が優良消防団として、日本消防協会から竿頭綬を授与される。 3月 国庫補助事業により、防火水槽（40m³級）5基設置する。（上飯沼・長岡（2基）・南川又・蕎麦原）単独事業により、1基設置する。 （大畑）電源立地促進対策事業により、小型全自動消防ポンプ付積載車2台を購入し、第4分団第2部（駒場）、第5分団第2部（上石崎）に配置する。 佐藤義男氏、消防長退任する。 4月 坂場昭廣氏、消防長に就任する。 消防吏員1名採用する。 8月 第8回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第8回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部（常井） 準優勝 第2分団第4部（奥谷） 11月 第37回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 5位入賞 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部（常井） 12月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、第

	1分団第1部（長岡）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）5基設置する。 （秋葉・城之内・宮ヶ崎・中石崎・下石崎）
昭和 62 年	2月 消防吏員1名退職する。 3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第1分団第1部（長岡）に新築する。 4月 本部組織の改革により、4係から5係とする。 消防司令1名、消防司令補2名、消防士長2名、消防副士長7名任用する。 茨城県消防長会定例総会開催する。 （開催地 茨城町 場所 松星苑） 消防吏員1名役場に配置替えになる。 7月 消防副士長4名任用する。 8月 第9回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 消防吏員1名退職する。 11月 第38回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第4部（奥谷） 12月 防災まちづくり事業により、小型動力消防ポンプ付積載車を購入し、第2分団第4部（奥谷）に配置する。 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、第2分団第1部（下土師）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）5基設置する。 （長岡・常井・下飯沼・小幡・生井沢）
昭和 63 年	3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第2分団第1部（下土師）に新築する。 県単独補助事業により、救急自動車（2B型）を購入する。 4月 消防副士長1名任用する。 消防吏員2名採用する。 事務職員1名役場より出向 5月 茨城町総合水害防災訓練を実施する。 8月 第10回茨城町消防団体力づくりソフトボール大会、消防署が加わり21チームで開催する。 9月 第9回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第5分団第2部（上石崎）

	10月 第39回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優勝 第2分団第2部（野曽） 11月 自治体消防制度40周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会開催される。 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、第3分団第2部（鳥羽田）に配置する。 査察広報車購入する。
平成 元 年	2月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第3分団第2部（鳥羽田）と、第5分団第3部（下石崎）に新築する。 3月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基設置する。 （長岡（2基）・宮ヶ崎・網掛・神宿・神谷・小鶴） 4月 消防副士長1名任用する。 5月 消防吏員1名退職する。 7月 消防本部指令車を購入する。 8月 第11回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第40回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 12月 防災まちづくり事業により、小型動力消防ポンプ付積載車を購入し、第1分団第3部（常井）に配置する。
平成 2 年	1月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基設置する。 （長岡・大戸・南川又・下飯沼・越安・宮ヶ崎・野曽） 2月 防衛庁基地対策事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置する。 3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第1分団第3部（常井）、第3分団第3部（小幡）に新築する。 防災まちづくり事業により、水防倉庫（海老沢）を改築する。 4月 消防司令補2名、消防士長4名、消防副士長3名任用する。 消防吏員2名採用する。 消防事務職員1名役場に配置替えになる。 8月 第12回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 連絡車を購入する。 第10回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第2分団第1部（下土師）

	小型ポンプの部 優 勝 第2分団第2部（野曽） 準優勝 第5分団第2部（上石崎） 10月 第41回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽） 消防吏員1名役場に配置替えになる。 12月 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、 第4分団第3部（宮ヶ崎）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基設置する。 （木部・小鶴・小幡・小堤（2基）・上石崎・下石崎） 防災まちづくり事業により、小型動力ポンプ付積載車を購入し、第 3分団第4部（下雨ヶ谷）に配置する。
平成 3 年	3月 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第3分団 第1部（秋葉）、第4分団第3部（宮ヶ崎）に新築する。 防災まちづくり事業により、水防倉庫を上石崎に新築する。 4月 消防吏員1名採用する。 8月 第13回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第42回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 12月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し、 第5分団第1部（中石崎）に配置する。
平成 4 年	3月 庁舎車庫の一部を通信指令室に改修する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）6基設置する。 （若宮・網掛・駒場・下石崎・南川又・前田） 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第2分団 第2部（野曽）、第5分団第1部（中石崎）に新築する。 4月 本部組織改革により、3課7係とする。 消防吏員1名採用する。 役場事務職員1名消防に配置替えになる。 消防吏員3名役場に配置替えになる。 8月 第14回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 関東地方建設局道路地震防火訓練開催される。 9月 第11回茨城町消防団ポンプ操法競技大会開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 優 勝 第1分団第3部（常井）

	準優勝 第2分団第2部（野曽） 10月 第43回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井） 茨城県消防長会役員会を「ひぬま荘」で開催する。 11月 火災予防運動「火の用心」広報駅伝実施する。 （消防本部・消防署・消防団）
平成 5 年	3月 消防緊急通信指令施設完成し、運用開始する。 県費補助事業により、消防ポンプ自動車（BD-Ⅰ型）を購入し、第1分団第2部（前田）に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）6基設置する。 （野曽・神宿・下土師・上石崎・若宮・大戸） 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第2分団第3部（南川又）、第5分団第2部（上石崎）に新築する。 坂場昭廣氏、消防長退任する。 4月 上田三郎氏、消防長に就任する。 消防司令補1名、消防士長9名、消防副士長2名任用する。 消防吏員2名採用する。 8月 第15回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第44回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第2分団第2部（野曽）
平成 6 年	3月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）7基設置する。 （小幡・上飯沼南部・木部・下座・上石崎（2基）・下石崎） 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第3分団第4部（下雨ヶ谷）、第5分団第4部（若宮）に新築する。 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し、第3分団第3部（小幡）に配置する。 4月 消防吏員2名採用する。 消防司令4名任用する。 消防吏員1名役場に配置替えになる。 8月 第16回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第12回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第5分団第3部（下石崎） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優 勝 第4分団第2部（駒場） 準優勝 第1分団第3部（常井）

	10月	第45回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第3部（下石崎） 小型ポンプの部 第4分団第2部（駒場）
平成 7 年	3月	防災まちづくり事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基設置する。 （上雨ヶ谷・木部・下土師・小幡・上石崎） 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第1分団 第4部（小鶴）、第2分団第4部（奥谷）に新築する。 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、 第5分団第3部（下石崎）に配置する。
	4月	中村清文氏、消防署長に就任する。 消防司令補4名、消防士長6名、消防副士長2名任用する。 消防吏員1名採用する。 消防吏員1名役場に配置替えになる。
	8月	第17回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。
	10月	第46回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第1分団第3部（常井）
	11月	国庫補助事業により、高規格救急自動車を購入し、消防署に配置する。
平成 8 年	3月	防災まちづくり事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基設置する。 （南川又・駒場・駒渡・野曽・上石崎）
	7月	救急救命士1名任命する。
	8月	第18回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。
	9月	第13回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第3部（南川又） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優 勝 第4分団第2部（駒場） 準優勝 第5分団第2部（上石崎）
	10月	第47回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第3部（南川又） 小型ポンプの部 優 勝 第4分団第2部（駒場）
	12月	消防吏員1名退職する。
平成 9 年	1月	救急救命士1名任命する。
	3月	防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、 消防署に配置する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m ³ 級）5基設置する。 （下雨ヶ谷・上石崎・中石崎・網掛・南川又） 関根利雄氏、消防団長退任する。

	上田三郎消防長、役場に帰任する。 4月 浅野俊幸氏、消防団長に就任する。 郡司和幸氏、消防長事務取扱に就任する。 中村清文氏、消防次長に就任する。 消防司令長1名、消防司令補5名、消防士長2名、消防副士長5名任用する。 消防団各車輛に団専用波無線機を配置する。 7月 消防士長2名任用する。 8月 消防吏員2名採用する。 第19回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第48回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 12月 救急救命士1名任命する。
平成 10 年	2月 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）3基設置する。 （上雨ヶ谷・海老沢・上石崎） 3月 消防吏員2名退職する。 4月 消防吏員2名採用する。 消防司令補4名任用する。 8月 第20回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第14回茨城町消防団ポンプ操法競技大会を開催する。 自動車ポンプの部 優 勝 第2分団第1部（下土師） 準優勝 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 優 勝 第4分団第2部（駒場） 準優勝 第5分団第2部（上石崎） 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。 （南栗崎・下石崎） 10月 第49回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団第1部（下土師） 小型ポンプの部 第4分団第2部（駒場） 12月 防衛庁基地対策事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し、第4分団第4部（海老沢）に配置する。
平成 11 年	2月 茨城町消防団優良消防団として、日本消防協会から表彰旗を授与される。 3月 郡司和幸氏、消防長事務取扱退任する。 4月 木村睦氏、消防長事務取扱に就任する。 消防司令補3名、消防士長1名、消防副士長2名任用する。 8月 第21回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。

	9月 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）2台を購入し第2分団第3部（南川又）、第5分団第4部（若宮）に配置する。 10月 第50回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴） 小型ポンプの部 第5分団第2部（上石崎） 木村睦氏消防長事務取扱退任する。 11月 宮部秀雄氏消防長に就任する。 12月 救急救命士1名任命する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）1基設置する。 （小幡）
平成 12 年	3月 北関東自動車道で消防訓練を実施する。 防災まちづくり事業により、コミュニティー消防センターを第4分団第2部（駒場）に新築する。 4月 消防副士長1名を任用する。 8月 第22回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 茨城県消防長会定例総会を「いこいの村涸沼」で開催する。 第51回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第1部（中石崎）
平成 13 年	1月 事務職員1名役場より出向する。 防災まちづくり事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。 （下飯沼・若宮） 3月 防衛庁基地対策事業により、救助工作車を購入し、消防署に配置する。 浅野俊幸氏、消防団長退任する。 4月 山西忠氏、消防団長に就任する。 事務職員1名役場より出向する。 消防副士長3名任用する。 消防団員条例定数を285名として、新たに女性消防団員15名が入団する。 8月 第23回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第52回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 小型ポンプの部 第3分団第4部（下雨ヶ谷）
平成 14 年	3月 防災基盤整備事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。（近藤・宮ヶ崎） 国庫補助事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を2台購入し第1分団第4部（小鶴）、第3分団第1部（秋葉）に配置する。 4月 事務職員1名役場に出向する。

	茨城県防災航空隊に消防吏員1名派遣する。 消防司令2名、消防司令補1名、消防士長2名、消防副士長2名任用する。 8月 第24回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 救急救命士1名任命する。 10月 第53回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 小型ポンプの部 優勝 第4分団第2部（駒場）
平成 15 年	2月 防災基盤整備事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。 （大戸・上石崎） 国庫補助事業により、2B型救急自動車を高規格救急自動車に更新し、消防署に配置する。 3月 宮部秀雄氏、消防長退任する。 4月 中村清文氏、消防長に就任する。 長谷川修仁氏消防次長兼署長に就任する。 消防司令長1名、消防司令1名、消防士長3名任用する。 事務職員1名役場へ出向する。 消防吏員1名採用する。 5月 茨城町危険物安全協会設立30周年記念により、広報車が寄贈され消防本部に配置する。 8月 第25回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第54回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団 11月 消防吏員1名退職する。
平成 16 年	2月 防災基盤整備事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。 （鳥羽田・木部） 3月 電源立地交付金事業により、小型動力ポンプ付積載車を購入し、第4分団第2部（駒場）、第5分団第2部（上石崎）に配置する。 消防吏員1名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 5月 消防吏員1名退職する。 8月 第26回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第55回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団 12月 町単独事業により、防火水槽（40m³級）1基設置する。（上石崎）
平成 17 年	1月 救急救命士1名任命する。 3月 山西忠氏、消防団長退任する。 4月 皆川重孝氏、消防団長に就任する。 消防司令長1名、消防士長1名任用する。

	8月 第27回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第56回茨城県消防ポンプ操法競技大会東茨城地区大会開催される。 自動車ポンプの部 準優勝 第1分団第1部（長岡）
平成 18 年	3月 消防吏員1名退職する。 4月 消防吏員1名採用する。 消防司令補2名、消防士長2名任用する。 8月 第28回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第57回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団
平成 19 年	3月 皆川重孝氏、消防団長退任する。 消防吏員2名退職する。 4月 郡司冽氏、消防団長に就任する。 消防吏員2名採用する。 消防司令長2名、消防司令6名、消防司令補3名任用する。 8月 第29回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催される。 10月 第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第4部（海老沢）
平成 20 年	2月 百里基地周辺消防施設設置助成事業により、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置する。 3月 リサイクル研究開発促進交付金事業により、高規格救急自動車を購入し、消防署に配置する。 4月 消防吏員1名採用する。 6月 再編交付金事業により、小型動力消防ポンプ（C-1級）を3台購入し、本郷区、昭和区、飯塚区に配置する。 8月 第30回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第3部（小幡） 10月 自治体消防制度60周年記念茨城県大会において、茨城県知事より、市町村優良機関として茨城町消防団が表彰される。 12月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）を購入し、第1分団第1部（長岡）、第3分団第2部（鳥羽田）に配置する。
平成 21 年	1月 再編交付金事業により、小型動力消防ポンプ（C-1級）を3台購入し、宮ヶ崎第四区、宮ヶ崎第六区、神谷区に配置する。 3月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）を購入し、第4分団第3部（宮ヶ崎）に配置すると共に、第4分団第4部（海老沢）に、海老沢地区消防機具庫を新築する。 中村清文氏、消防長退任する。

	郡司冽氏、消防団長退任する。 消防吏員4名退職する。 4月 長谷川修仁氏、消防長に就任する。 井坂正次氏、消防次長兼署長に就任する。 長洲良男氏、消防団長に就任する。 消防吏員3名採用する。 7月 救急救命士1名任命する。 8月 第31回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団第4部（若宮） 10月 再編交付金事業により、小型動力消防ポンプ（C-1級）を購入し、網掛区に配置する。 11月 再編交付金事業により、消防指揮車を購入する。 12月 救急救命士1名任命する。
平成 22 年	2月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）を購入し第2分団第1部（下土師）に配置する。 3月 長谷川修仁氏、消防長退任する。 4月 井坂正次氏、消防長に就任する。 中村誠氏、消防次長兼署長に就任する。 消防吏員2名採用する。 8月 第32回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急救命士1名任命する。 10月 第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第1分団第4部（小鶴）
平成 23 年	3月 東日本大震災が発生し、災害対策本部が設置される。 消防庁舎が被災する。 井坂正次氏、消防長退任する。 消防吏員2名退職する。 4月 中村誠氏、消防長に就任する。 木村好文氏、消防次長兼署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 5月 仮庁舎として、総合福祉センターゆうゆう館で業務を開始する。 8月 第33回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団
平成 24 年	2月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）を購入し第5分団第1部（中石崎）に配置する。

	3月 消防吏員3名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 嘱託職員4名採用する。 消防吏員1名退職する。 緊急消防援助隊救急部隊に救急小隊1隊登録する。 茨城県立消防学校に消防吏員1名派遣する。 8月 第34回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団
平成 25 年	2月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し第1分団第2部（前田）に配置する。 3月 茨城町消防本部・消防団が優良本部・団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 中村誠氏、消防長退任する。 消防吏員1名退職する。 嘱託職員4名退職する。 消防庁舎完成し、竣工式を挙げる。 4月 木村好文氏、消防長に就任する。 海老澤忠信氏、次長兼消防署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 8月 第35回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第3部（宮ヶ崎）
平成 26 年	1月 平成25年度茨城県消防長会予防部会を「いこいの村涸沼」で開催する。 3月 再編交付金事業により、小型動力付ポンプ積載車を2台購入し第1分団第3部（常井）及び第2分団第4部（奥谷）に配置する。 消防吏員3名退職する。 茨城県立消防学校から消防吏員1名帰任する。 4月 消防吏員5名採用する。 茨城県防災航空隊に消防吏員1名派遣する。 8月 第36回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団 12月 救急救命士1名任命する。
平成 27 年	1月 平成26年度茨城県消防長会予防部会を「いこいの村涸沼」で開催する。

	2月 再編交付金事業により、防災広報車を購入し、本部に配置する。 3月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し、第2分団第2部（野曽）に配置する。 救急救命士1名任命する。 木村好文氏、消防長退任する。 長洲良男氏、消防団長退任する。 4月 海老澤忠信氏、消防長に就任する。 松本清次氏、消防団長に就任する。 塙隆一氏、次長兼消防署長に就任する。 消防吏員1名採用する。嘱託職員1名採用する。 8月 第37回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 9月 救急救命士1名任命する。 消防吏員1名退職する。 10月 第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 4位入賞 第1分団 12月 いばらき消防指令センターに消防吏員1名派遣する。 消防無線アナログ波（150MHZ帯）からデジタル波（260MHZ帯）に切替。
平成 28 年	3月 再編交付金事業により、小型動力付ポンプ積載車を1台購入し第3分団第4部（下雨ヶ谷）に配置する。 百里基地周辺消防施設設置助成事業により、高規格救急自動車1台を購入し、消防署に配置する。 消防吏員2名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 機能別団員制度の制定により機能別消防団10名制定し、条例定数295名となる。 6月 機能別消防団10名任命し、消防団員295名となる。 第43回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で優勝する。 7月 第45回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 神奈川県消防学校） 消防吏員1名退職する。 8月 第38回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団 12月 消防防災整備費補助事業により、防火水槽（40m³級）1基設置する。（大戸）
平成 29 年	1月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し、

	第3分団第3部（小幡）に配置する。 消防防災整備費補助事業により、防火水槽（40m³級）1基設置する。 （長岡） 2月 防衛省消防施設周辺施設設置事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）1台を購入し、消防署に配置する。 3月 海老澤忠信氏、消防長退任する。 松本清次氏、消防団長退任する。 消防吏員2名退職する。 茨城県防災航空隊から消防吏員1名帰任する。 4月 塙隆一氏、消防長に就任する。 井坂安男氏、消防団長に就任する。 江幡光陽氏、次長兼消防署長に就任する。 消防吏員4名採用する。 6月 第44回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で準優勝する。 救急救命士1名任命する。 7月 第46回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 山梨県消防学校） 8月 第39回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団第2部（鳥羽田）
平成 30 年	1月 消防防災整備費補助事業により、防火水槽（40m³級）2基設置する。 （長岡・駒場） 2月 再編交付金事業により、消防ポンプ自動車（CD- I 型）2台を購入し、第2分団第3部（南川又）第5分団第3部（下石崎）に配置する。 3月 嘱託職員1名退職する。 4月 消防吏員1名採用する。 6月 第45回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で準優勝する。 7月 第47回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 東京消防庁夢の島訓練場） 8月 第40回茨城町消防体力づくりソフトボール大会開催する。 10月 第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第4分団第2部（駒場） 自治体消防制度70周年記念茨城県大会において、茨城県知事より、市町村優良機関として茨城町消防団が表彰される。
平成 31 年	3月 高規格救急自動車1台を購入し、消防署に配置する。 塙隆一氏、消防長退任する。 消防職員2名退職する。

	4月 江幡光陽氏、消防長に就任する。 中山勝典氏、消防次長兼総務課長に就任する。 斉藤博史氏、消防署長に就任する。 消防吏員3名採用する。
令和 元 年	6月 第46回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で優勝する。 7月 第48回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 長野県消防学校） 救急救命士1名任命する。 8月 茨城町消防体力づくり綱引大会開催する。 10月 第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第5分団 第74回国民体育大会ピストル競技場（県警察学校）の警備を実施する。
令和 2 年	2月 第1分団第2部コミュニティ消防センター（前田）を新築し竣工式を挙げる。 3月 緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車1台を購入し、消防署に配置する。 4月 消防吏員1名採用する。会計年度任用職員1名採用する。 救急救命士3名任命する。 9月 消防吏員1名退職する。
令和 3 年	2月 総務省消防庁無償貸付により、救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車（CD-I 型、3.5 t 未満）を借受け、第5分団第4部（若宮）に配置する。 3月 井坂安男氏、消防団長退任する。 4月 消防吏員2名採用する。救急救命士1名を任命する。 飯山幸一氏、消防団長に就任する。 12月 救命士2名を任命する。
令和 4 年	2月 百里基地周辺消防施設設置助成事業により消防ポンプ自動車（CD-I 型、3.5t未満）を購入し、第4分団第4部（海老沢）に配置する。 6月 第49回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で優勝する。 7月 第50回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加する。（開催地 立川立飛特設会場）
令和 5 年	3月 飯山幸一氏、消防団長退任する。 消防吏員1名退職する。 4月 消防吏員3名採用する。 江橋康夫氏、消防団長に就任する。 10月 第74回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第2分団

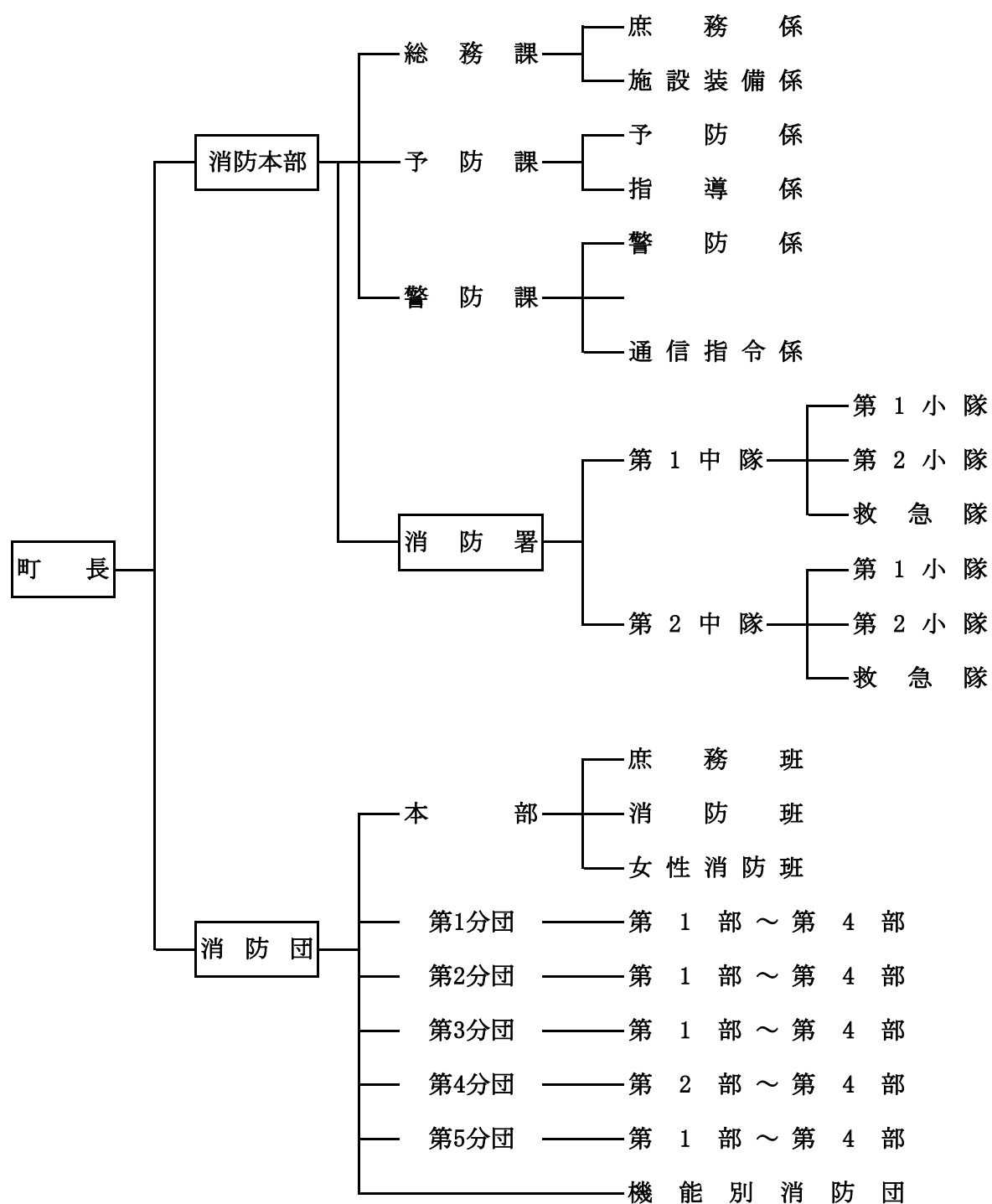
	12月	消防吏員1名退職する。
令和 6 年	1月	救命士2名を任命する。
	2月	百里基地周辺消防施設設置助成事業により消防ポンプ自動車 (CD-I 型、3.5t未満)を購入し、第3分団第1部(秋葉)に配置 する。 消防吏員1名退職する。
	3月	緊急防災・減災事業債により防火水槽(40m ³ 級)1基設置する。 (駒場)
	4月	消防吏員2名採用する。
	6月	第51回茨城県消防救助技術大会、引揚救助の部で優勝する。
	7月	第52回消防救助技術関東地区指導会、引揚救助の部に署員5名参加 する。(開催地 千葉県消防学校)
	10月	第75回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会開催される。 自動車ポンプの部 第3分団
令和 7 年	3月	広報車を1台購入し消防本部に配置する。 江橋康夫氏、消防団長退任する。
	4月	和家孝之氏、消防団長に就任する。

総務



掲載：令和6年度 防衛補助事業で整備した消防団車両（3.5 t 未満）

1. 組織及び機構



2. 消 防 本 部 ・ 消 防 署 事 務 分 掌

課 名	係 名	事 務 分 掌
総務課	庶務係	1 条例、規則等に関する事。 2 消防事務の企画及び総合調整に関する事。 3 会議に関する事。 4 公印の管守に関する事。 5 消防用財産の管理及び処分に関する事。 6 消防用施設の設置に関する事。 7 消防職員の任免、賞罰その他身分に関する事。 8 人事給与に関する事。 9 消防団に関する事。 10 自主防災組織に関する事。 11 公務災害補償に関する事。 12 消防予算及び経理に関する事。 13 消防の相互応援に関する事。 14 給貸与品、備品及び消耗品に関する事。 15 消防統計に関する事。 16 職員の福利厚生に関する事。 17 文書の収受及び発送に関する事。 18 その他、他の主管に属しない事。
	施設装備係	1 消防機械の配置、点検、整備及び管理に関する事。 2 消防車等の検閲及び検査に関する事。 3 庁舎の管理営繕に関する事。 4 各種使用燃料に関する事。 5 機関員の技術養成訓練に関する事。 6 交通事故に関する事。
予防課	予防係	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物の査察及び指導に関する事。 3 防火思想の普及に関する事。 4 民間防火組織に関する事。 5 危険物安全協会に関する事。 6 その他危険物等に関する事。
	指導係	1 建築確認等の同意に関する事。 2 消防用設備等に関する事。 3 防火対象物の査察及び指導に関する事。 4 防火管理者に関する事。 5 その他火災予防に関する事。

課 名	係名	事 務 分 掌
警防課	警防係	1 職員及び消防団の教養訓練に関すること。 2 消防計画及び警防計画に関すること。 3 水防計画及び地域防災計画に関すること。 4 総合防災訓練及び各種演習訓練に関すること。 5 消防技術の調査及び研究に関すること。 6 火災原因及び損害の調査に関すること。 7 火災統計に関すること。 8 消防水利の計画及び管理に関すること。 9 自主防災組織の指導に関すること。 10 その他警防に関すること。
	救急救助係	1 救急救助訓練等の計画及び実施に関すること。 2 救急救助統計に関すること。 3 職員の安全管理に関すること。
	通信指令係	1 消防通信及び通信設備等に関すること。 2 いばらき消防指令センターに関すること。 3 防災行政無線局に関すること。 4 気象観測及び警報等消防信号に関すること。 5 その他通信指令に関すること。
消 防 署		1 水火災等の警防活動に関すること。 2 防火対象物等の警防査察に関すること。 3 消防用地理、水利の調査保全の実施に関すること。 4 消防操法及び規律訓練等の実施並びに指導に関すること。 5 救急救助活動に関すること。 6 救急救助訓練等の実施に関すること。 7 救急救助資機材の保全運用に関すること。 8 救急医療情報センター等との連絡調整に関すること。 9 教養の実施に関すること。 10 消防用機械器具の運用並びに維持管理に関すること。 11 各種注意報及び警報の発令並びに伝達に関すること。 12 各種届出の受理並びに指導に関すること。 13 各種災害の原因、損害等の調査に関すること。 14 消防通信及び無線の運用に関すること。 15 火災予防広報の実施に関すること。 16 緊急車両の運用に関すること。 17 庶務に関すること。 18 庁舎等施設及び備品の保全管理に関すること。 19 その他特命事項に関すること。

3. 予算関係

(1) 町予算と消防予算比較

単位：千円

	歳出		消防予算内訳				
	一般会計 予 算	消防費 予 算	常 備 消防費	非常備 消防費	施設費	水防費	比率
令和 3年度	11,920,000	424,744	359,006	59,533	6,058	147	3.6%
令和 4年度	12,827,000	406,765	358,798	41,316	6,496	155	3.2%
令和 5年度	12,762,000	460,148	369,182	65,994	6,067	114	3.6%
令和 6年度	14,875,000	454,664	386,836	42,017	25,716	95	3.1%
令和 7年度	15,284,000	495,943	418,447	70,427	6,971	98	3.2%

(2) 人口及び世帯当たりの消防費

単位：円

年度	種別 区分	人口 1 人当たり		1 世帯当たり	
		一般会計予算	消 防 費 予 算	一般会計予算	消 防 費 予 算
令和 3 年 度		374,183	13,934	896,645	33,390
令和 4 年 度		409,861	13,581	968,807	32,101
令和 5 年 度		413,988	14,927	959,188	34,585
令和 6 年 度		486,301	14,864	1,106,688	33,826
令和 7 年 度		500,737	16,248	1,122,585	36,426

4. 職員関係

(1) 消防職員の定数及び実員

令和7年4月1日現在

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	その他 の職員	合計
定 員							52		52
実 員	1	9	23	11	4	5	53	2	55

(2) 消防職員配置状況

配置 階級	消 防 本 部						消 防 署				
	消 防 長	次 長	総 務 課	予 防 課	警 防 課	計	署 長	隔 日			計
								副 署 長	第 一	第 二	
消 防 司 令 長	1					1					
消防司令		1	1	2	2	6	1	2			3
消 防 司 令 補			5 (4)	6 (3)	12 (12)	23 (19)			10	9	19
消防士長			4 (3)	3 (3)	4 (4)	11 (10)			5	5	10
消 防 副 士 長			1 (1)	1 (1)	2 (2)	4 (4)			1	3	4
消 防 士			2 (2)		3 (3)	5 (5)			3	2	5
そ の 他 の 職 員			1		1	2					
合 計	1	1	14 (10)	12 (7)	24 (21)	52 (38)	1	2	19	19	41

備考 () 内は本部兼務数

(3) 消防職員勤続年数調

令和7年4月1日現在

階 級 年 数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員	計
1年未満								
1年以上5年未満					1	5		6
5年以上10年未満				6	3		1	10
10年以上15年未満			11	5				16
15年以上20年未満			6					6
20年以上25年未満			3					3
25年以上30年未満		4	1				1	6
30年以上	1	5	2					8
合計	1	9	23	11	4	5	2	55

(4) 消防職員階級別年齢調

階 級 年 数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員	計
18歳以上 20歳未満								
20歳以上 25歳未満						4		4
25歳以上 30歳未満				3	4	1	1	9
30歳以上 35歳未満			4	8				12
35歳以上 40歳未満			10					10
40歳以上 45歳未満			6					6
45歳以上 50歳未満		4	1				1	6
50歳以上	1	5	2					8
合計	1	9	23	11	4	5	2	55

(5) 消防職員特殊技能資格取得状況

階 級 区 分	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 の職員	計
自 免 動 車 許	大型自免	5	8	1				14
	中型自免	1	14	9	3			27
	〃 8t未満	1	3	1				5
	準中型自免							
	〃 5t未満			1			1	2
	普通自免				1	5	1	7
	大型特自免	1	2					3
特殊無線技師	1	9	23	11	4	5	1	54
危険物取扱免(乙4)			19	7	4	5		35
2級小型船舶操縦士		5	10	1			1	17

5. 消防団関係

令和7年4月1日現在

(1) 消防団員定数及び実員

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機能別	計
定 数	1	2	11	10	20	40	201	10	295
実 員	1	2	11	10	20	40	172	9	265

(2) 消防団員配置表

階級 名称		団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
本 部 (女性部)		1	2	5 (1)	5	(1)	(2)	(14)	13 (18)
第1分団	第1部					1	2	7	48
	第2部					1	2	10	
	第3部			1	1	1	2	9	
	第4部					1	2	8	
第2分団	第1部					1	2	7	47
	第2部					1	2	7	
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	9	
第3分団	第1部					1	2	8	44
	第2部					1	2	7	
	第3部			1	1	1	2	6	
	第4部					1	2	9	
第4分団	第2部					1	2	9	36
	第3部			1	1	1	2	8	
	第4部					1	2	8	
第5分団	第1部					1	2	8	50
	第2部					1	2	9	
	第3部			1	1	1	2	10	
	第4部					1	2	9	
機 能 別								9	9
合 計		1	2	11	10	20	40	181	265

(3) 消防団員報酬及び各種手当

1) 団員階級別報酬

令和7年4月1日現在

階 級	年 報 酬
団 長	83,000 円
副 団 長	65,000 円
分 団 長	45,000 円
副 分 団 長	40,000 円
部 長	35,000 円
班 長	34,000 円
団 員	33,000 円
機 能 別	10,000 円

2) 各種手当

- ① 火災警戒出場手当 1時間につき 1,000円
- ② 訓練手当 1時間につき 1,000円
- ③ 機関員手当 1人年額 3,700円

(4) 消防団員年齢別調

令和7年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
18歳以上 20歳未満								
20歳以上 25歳未満							7	7
25歳以上 30歳未満					2	4	9	15
30歳以上 35歳未満					4	2	21	27
35歳以上 40歳未満				2	3	10	35	50
40歳以上 45歳未満				1	5	10	46	62
45歳以上 50歳未満			2	3	4	9	39	57
50歳以上 55歳未満			5	3	2	4	17	31
55歳以上	1	2	4	1		1	7	16
合計	1	2	11	10	20	40	181	265

6. 機械装備関係

(1) 消防本部及び消防署の機械一覧表

令和7年4月1日現在

種別 所属	車 名	機装社名	年式	ポンプ型式 及び水槽	摘 要
消防本部	日産 キャラバン (再編交付金事業)	茨城日産	H21		指 揮 車
消防本部	日産 ADバン (県貸与品)	茨城日産	H27		原子力広報車
消防本部	日産 NV200	茨城日産	R7		広 報 車
消防本部	日産 クリッパー (再編交付金事業)		H27		防 災 広 報 車
消防本部	トヨタ プリウス		H21		公 務 車
消 防 署	日野 レンジャー (防衛庁基地対策事業)	モ リ タ	H20	A-2級2段タービン 1,500リットル	水槽付ポンプ車
消 防 署	日野 デュトロ (百里飛行場周辺消防施設設置助成事業)	モ リ タ	H29	A-2級1段ホリェットポンプ 600リットル	泡消火システム付 ポンプ車
消 防 署	三菱 ファイター (防衛庁基地対策事業)	モ リ タ	H13		救 助 工 作 車
消 防 署	トヨタ ハイメディック (百里飛行場周辺消防施設設置助成事業)	茨 城 ト ヨ タ	H28		高規格救急車
消 防 署	トヨタ ハイメディック	茨 城 ト ヨ タ	H31		高規格救急車
消 防 署	日産 パラメディック (緊援隊設備整備費補助事業)	茨城日産	R1		高規格救急車
消 防 署	三菱 キャンター (再編交付金事業)	ユニック	H24		資 機 材 搬 送 車

(2) 消防本部及び消防署機械器具一覧表

1) 消防車

令和7年4月1日現在

区分		車両等	水槽付 ポンプ車	ポンプ車	備 品	計
消防 用 資 器 材		バール	1	1		2
		ワイヤーカッター	4	3		7
		ジェットシューター	4	4		8
		スタンドパイプ	1	1		2
		3連はしご (チタン)		1		1
		3連はしご (ステンレス)	1			1
		破壊オノ		1		1
		消火器		1		1
		泡消火剤	3	3	16	22
		ホースカー	1	1		2
		可搬ポンプ			1	1
		空気呼吸器	3	3	4	10
		空気ボンベ (80)	3	5	16	24
		ジャッキ (3t)			1	1
		電燈 (水防用)			5	5
		T R メガホン	1	1		2
		充電器			1	1
		蜂用防護服			2	2
		エアークォーム管鎗		2		2
		二又分岐金具	2	2		4
		ガス検知器	1	1		2
		発電機	1	1	2	4
		投光器	1	1	2	4
		サーマルカメラ	1			1
		ワイヤーロープ	5			5
		ファイヤーファインダー	1			1
		作業用ロープ	5	8	5	18
		ライトボーイ			3	3

2)救急車

区分		車両等	救急車 (1号)	救急車 (2号)	救急車 (予備車)	備 品	計
救 急 用 資 器 材	手動式人工蘇生器		1	1	1	1	4
	電動吸引器		1	1	1	1	4
	心肺蘇生用背板		1	1	1	1	4
	パルスオキシメーター		1	1	1		3
	血糖測定器		1	1	1		3
	A E D					2	2
	自動車電話		1	1	1		3
	観察用モニター		1	1	1		3
	半自動除細動器		1	1	1		3
	輸液ポンプ		1	1	1		3
	喉頭鏡セット		1	1	1	1	4
	人工呼吸器		1	1	1		3
	自動心臓マッサージ器		1	1	1	1	4
	聴診器		2	2	2	1	7
	スクープストレッチャー		1	1	1		3
	ロングバックボード		1	1	1	2	5
	小児用バックボード		1	1			2
	ネックカラー		2	2	2	3	9
	携帯用酸素		1	1	1		3
	バール		1	1	1		3
	消火器		1	1	1		3
	アイソレーター					3	3

3)救助工作車

区分		車両等	救助 工作車	備品	計
救 助 資 器 材	かぎ付きはしご（チタン製ワンタッチ式）		1		1
	三連はしご（ステンレス製キャスター付）		1		1
	金属製折りたたみはしご			1	1
	救命索発射銃		1		1
	空気式救助マット		1		1
	サーバイバースリング		1		1
	平担架		1		1
	ロープー式		1		1
	カラビナ（ステンレス製）		20		20
	滑車		4		4
	油圧ジャッキ		2		2
	可搬ウインチ		1		1
	ワイヤーロープ		5		5
	マンホール救助器具一式		1		1
	大型油圧救助器具一式		1		1
	ガス溶断機		1		1
	エンジンカッター		1		1
	チェーンソー		1		1
	鉄線カッター		1	4	5
	携帯用コンクリート破損器具		1		1
	空気呼吸器（ボンベ保護カバー）		4	10	14
	空気呼吸器予備ボンベ		8	35	43
	耐電手袋		5		5
	防塵メガネ		5		5
	携帯警報器		5		5
	防毒マスク		5		5
	化学防護服		4		4
	救命浮輪		2		2
	携帯投光器		2		2
	携帯無線機		1		1
	応急措置用セット		1		1
	救命ボート（アルミ製折りたたみ式）		1		1
	救命ボート（ゴムボート）			1	1
	船外機		1	1	2
	バスケット担架		1	1	2
	車両移動器具		4	6	10
	マット型空気ジャッキ一式		1		1
	空気鋸		1		1
	電動ハンマードリル		1		1
	酸素呼吸器		3		3
	簡易呼吸器		2		2
	耐電衣		2		2
	耐電ズボン		2		2
	耐電長靴		2		2
	緩降機		1		1
	縛帶一式		1		1

(3) 消防団の消防機械一覧表

種別 所属			車 名	機装社名	年式	ポンプ型式
第一分団	1	長岡	日野 デュトロ	モリタ	H20	A-2級 2段タービン
	2	前田	日野 デュトロ	モリタ	H25	A-2級 2段タービン
	3	常井	トヨタ ダイナ	シバウラ	H26	B-2級 1段タービン
	4	小鶴	いすゞ エルフ	モリタ	H14	A-2級 2段タービン
第二分団	1	下土師	日野 デュトロ	モリタ	H22	A-2級 2段タービン
	2	野曾	日野 デュトロ	モリタ	H27	A-2級 2段タービン
	3	南川又	日野 デュトロ	モリタ	H30	A-2級 2段タービン
	4	奥谷	トヨタ ダイナ	シバウラ	H26	B-2級 1段タービン
第三分団	1	秋葉	トヨタ ダイナ	モリタ	R6	A-2級 1段ボリュート
	2	鳥羽田	日野 デュトロ	モリタ	H20	A-2級 2段タービン
	3	小幡	日野 デュトロ	モリタ	H29	A-2級 2段タービン
	4	下雨ヶ谷	日野 デュトロ	トーハツ	H28	B-2級 1段タービン
第四分団	2	駒場	いすゞ エルフ	シバウラ	H16	B-2級 1段タービン
	3	宮ヶ崎	日野 デュトロ	モリタ	H21	A-2級 2段タービン
	4	海老沢	トヨタ ダイナ	モリタ	R4	A-2級 1段ボリュート
第五分団	1	中石崎	日野 デュトロ	モリタ	H24	A-2級 2段タービン
	2	上石崎	いすゞ エルフ	シバウラ	H16	B-2級 1段タービン
	3	下石崎	日野 デュトロ	モリタ	H30	A-2級 2段タービン
	4	若宮	トヨタ ダイナ	モリタ	R3	A-2級 1段ボリュート

(4) 消防ホース保有量調

所属別 区分	消 防 署	第 一 分 団	第 二 分 団	第 三 分 団	第 四 分 団	第 五 分 団	合 計
	普 通 ホ ー ス	343	69	56	61	38	60

(5) 消防車両更新基準

車両名等	常備	非常備
消防ポンプ自動車	15年	15年
水槽付消防ポンプ自動車	15年	15年
救急自動車	10年	
救助工作車	17年	
普通自動車(指令車、広報車等)	13年	
小型動力ポンプ	15年	15年
小型動力ポンプ付積載車		15年
化学車	17年	

※ この基準表は、すべてを拘束するものではなく、車両の走行距離及び車両の総合状況等に応じて計画を見直す。

平成14年4月1日改正

予 防



掲載：火災予防運動オリジナル卓上のぼり旗

1. 危険物関係

(1) 危険物総数

令和7年3月31日現在

貯 蔵 所								取 扱 所						製造所	合 計
屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般	小計		
24	11		20		14	1	70	33				15	48		118

(2) 数量別危険物製造所等の総数

製造所等の別 数量の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般	
5倍以下		14	5		10		13	1	1				5	49
5倍を超え 10倍以下		4	1		4				1				7	17
10倍を超え 50倍以下		1	4		6		1		11				3	26
50倍を超え 100倍以下		1							8					9
100倍を超え 150倍以下		4							4					8
150倍を超え 200倍以下			1						1					2
200倍を超え 1,000倍以下									7					7
合 計		24	11		20		14	1	33				15	118

(3) 危険物関係申請状況調

 自 令和 6年 4月 1日
 至 令和 7年 3月31日

申請別 区 分		許 可		検 査			承 認			認可	届 出				
		設 置	変 更	完 成	水 圧	水 張	仮貯蔵	仮取扱	仮使用	予防規程	廃 止	譲 渡 引 渡	変 更 品 名・ 数 量	選 任・ 解 任 保 安 監 督 者	軽 微 な 変 更
製造所															
貯蔵所	屋 内										1	5	1	6	1
	屋外タンク											1		1	
	屋内タンク														
	地下タンク		2	2					2		2	1		2	1
	簡易タンク														
	移動タンク		2	2								2			
	屋 外														
取扱所	給 油									2		7		2	5
	第一種販売														
	第二種販売														
	移 送														
	一 般			1		4						1		2	
合 計			4	5		4			2	2	3	17	1	13	7

2. 建築同意関係

(1) 月別、用途別同意件数

月別 用途別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
(1)	イ													
	ロ							1						1
(2)	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
(3)	イ													
	ロ													
(4)						1					1			2
(5)	イ													
	ロ	1				2								3
(6)	イ													
	ロ				1									1
												1		1
	ニ													
(7)														
(8)														
(9)	イ													
	ロ													
(10)														
(11)														
(12)	イ						1				1		1	3
	ロ													
(13)	イ													
	ロ													
(14)														
(15)			1	1										2
(16)	イ			1										1
	ロ													
専用住宅										1				1
併用住宅														
危険物施設														
その他		2		2		3	2	1		1	2			13
合計		3	1	4	1	6	3	2		2	4	1	1	28

(2) 月別、工事種別確認同意件数

面積：㎡

月別	件数 面積	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模な 模 様 替	大規模な 修 繕	計
1	件 数	3							3
	面 積	1,231.17							1,231.17
2	件 数	1							1
	面 積	3,893.09							3,893.09
3	件 数	3	1						4
	面 積	442.59	241.81						684.40
4	件 数	1							1
	面 積	491.43							491.43
5	件 数	6							6
	面 積	10,278.34							10,278.34
6	件 数	3							3
	面 積	10,358.94							10,358.94
7	件 数	2							2
	面 積	3,859.97							3,859.97
8	件 数								
	面 積								
9	件 数	2							2
	面 積	342.67							342.67
10	件 数	4							4
	面 積	103,693.80							103,693.80
11	件 数		1						1
	面 積		223.17						223.17
12	件 数	1							1
	面 積	120.00							120.00
計	件 数	26	2						28
	面 積	134,712.00	464.98						135,176.98

3. 防火対象物関係

(1) 防火対象物数

令和7年3月31日現在

用 途 別			区 分	法第8条該当 防火対象物	消防用設備等 を必要とする 防火対象物
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場			
	ロ	公会堂、集会場		39	40
(2)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ			
	ロ	遊技場、ダンスホール		3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等			
(3)	イ	待合、料理店		1	1
	ロ	飲食店		7	13
(4)		百貨店、マーケット、その他物品販売店舗		36	52
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所		4	8
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅		4	91
(6)	イ	病院、診療所、助産所		12	19
	ロ	社会福祉施設等(主に入所施設)		21	30
	ハ	社会福祉施設等(主に通所施設)		13	38
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		3	4
(7)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学		9	46
(8)		図書館、博物館、美術館		1	1
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場		1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場			
(10)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場			
(11)		神社、寺院、教会		1	1
(12)	イ	工場、作業場		19	200
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場			22
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
(14)		倉庫		4	154
(15)		前各項に該当しない事業所		23	205
(16)	イ	特定用途部分が存する複合用途防火対象物		8	20
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		4	10
(16の2)		地下街			
(16の3)		準地下街			
(17)		重要文化財、史跡等の建造物			
(18)		延長50メートル以上のアーケード			
(19)		市町村長の指定する山林			
(20)		自治省令で定める舟車			
合 計				213	959

4. 諸届出関係

(1) 諸届出処理状況

届出別 月別	防火 管理者 届出	消 防 計 画 届出	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス ・ 届出	液 化 石 油 ガ ス 届出	消 防 用 設 備 等 設 置 届出	工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届出	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届出	炉・ か ま ど ・ ボ イ ラ ー 等 届出	設 置 届出	発 電 ・ 変 電 ・ 蓄 電 池 ・ 届出	燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届出	水 素 ガ ス を 充 填 す る 届出	気 球 の 設 置 届出	火 災 と 紛 ら わ し い 行 為 の 届出	煙 火 打 上 げ 仕 掛 け 届出	催 物 開 催 届出	水 道 断 減 水 届出	道 路 工 事 届出	露 店 等 の 開 設 届出	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 等 届出	計
1	1	1		6	5						7							9	1		30
2			1	18		6	1	3			4							12	2	1	48
3	2	4		11	2	2	2	1			1			1	1			15			41
4	11	12	1	5	1	2		1										13	2	4	52
5	6	6			1		4	2			2			2				5			26
6	3	4		7	2	3		1			2			2				8	1	2	33
7	3	5		5		2		1							1			15	3		35
8	9	12		3	1		2	2			3			3				7	4		43
9	1	2		2	3	2	1								2			7		1	21
10	3	4	1	3	8	1	1	2							2			15	5		45
11	7	7	3	10		4		1						1				14	1	1	49
12	1	2	1	7	1	2	1							5	1			7	1	4	33
合計	47	59	7	77	24	24	12	14						25	7			127	20	13	456

防 警



掲載：消防訓練

1. 火災関係

(1) 令和6年火災発生概要

件数	月 日	出火時分	鎮火時分	火災種別	用途別	出火場所	程度	焼損面積
1	1月6日	14:00	14:25	その他		小幡		
2	1月31日	13:45	14:57	建物	納屋	中石崎	部分焼	2㎡
3	2月18日	9:50	10:28	その他		木部		
4	3月15日	18:40	19:31	建物	住宅	木部	部分焼	8㎡
5	3月16日	17:45	18:35	その他		若宮		
6	4月14日	6:30	6:57	建物	ガレージ兼作業場	下石崎	ぼや	
7	8月7日	9:50	10:11	車両	貨物車	常井		
8	8月19日	5:12	5:48	車両	乗用車	大戸		
9	9月30日	6:40	7:32	建物	作業場	大戸	ぼや	
10	10月10日	14:00	14:42	建物	納屋	近藤	ぼや	
11	10月14日	20:30	20:50	車両	貨物車	奥谷		
12	10月18日	8:41	8:56	建物	研究所棟	上飯沼	ぼや	
13	11月14日	13:30	14:14	車両	貨物車	小幡		
14	12月3日	8:00	9:40	建物	住宅	宮ヶ崎	全焼	48㎡
15	12月12日	8:37	8:42	建物	病院	桜の郷	ぼや	

(2) 出火原因別火災発生状況

出火原因 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
たばこ			1										1
たき火	2	1	1										4
コンロ										1			1
火遊び													
風呂・かまど													
ストーブ													
電灯等の配線				1				1				1	3
放火・放火の疑い													
落雷													
その他								1	1	2	1	1	6
合計	2	1	2	1				2	1	3	1	2	15

(3) 用途別火災発生状況

用途 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
建築物	住宅		1									1	2
	併用住宅												
	共同住宅												
	店舗												
	事務所												
	工場												
	作業所			1					1				2
	倉庫												
	物置・納屋	1								1			2
	風呂場												
	校舎・体育館												
	その他									1			1
	林野											1	1
その他	車両							2		1	1		4
	その他	1	1	1									3
	合計	2	1	2	1			2	1	3	1	2	15

(4) 時間別火災発生状況

月 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
0～1													
1～2													
2～3													
3～4													
4～5													
5～6								1					1
6～7				1					1				2
7～8													
8～9										1		2	3
9～10		1						1					2
10～11													
11～12													
12～13													
13～14	1										1		2
14～15	1									1			2
15～16													
16～17													
17～18			1										1
18～19			1										1
19～20													
20～21										1			1
21～22													
22～23													
23～24													
不明													
合計	2	1	2	1				2	1	3	1	2	15

(5) 火災覚知状況

月 覚知別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
119 専用	固定 NTT			1										1
	固定 NTT以外										1		1	2
	携帯電話	1	1	1	1				2	1	2	1		10
加入電話	固定電話													
	携帯電話													
駆け付け														
事後聞知		1											1	2
その他														
合計		2	1	2	1				2	1	3	1	2	15

(6) 過去5年間の火災発生状況

年	区分	火災総件数 (件)	建物焼損面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	火災損害額 (千円)
令和2年		11	409	0	6,962
令和3年		21	220	0	2,895
令和4年		28	793	0	21,209
令和5年		21	606	0	8,732
令和6年		15	58	0	4,512

2. 消防水利関係

令和7年3月31日現在

種別 \ 地区		長岡	川根	上野合	沼前	石崎	計
消火栓	基準	146	105	84	61	49	445
	基準外	64	56	60	45	40	265
防火水槽	公設	40m ³ 以上	41	78	29	27	202
	私設	40m ³ 以上	52	14	18	5	98
		20m ³ 以上	4	8	6	8	31
		40m ³ 未満					
		20m ³ 未満	44	45	49	44	221
その他	河川			1		1	2
	プール		2	3	1	2	9
	湖川					2	2
	溜池			2			2

3. 救急関係

(1) 救急業務の実施状況

救急活動状況	出場件数	1,902 件	救急隊員	救急救命士	20 人
	取扱件数	1,734 件		救急科	31 人
	不搬送	168 件			
	搬送人員	1,750 人			
	出場延人員	5,792 人	出場車状況	救急自動車数	3 台
				走行距離	53,128.0 km
				平均走行距離	28.2 km

(2) 過去10年間の救急の流れ

年	種別 件数 人員	交 通	急 病	一般負傷	その他	計
平成27年	出 場 件 数	217	887	209	223	1,536
	搬 送 人 員	223	833	199	203	1,458
平成28年	出 場 件 数	217	988	200	194	1,599
	搬 送 人 員	228	893	193	178	1,492
平成29年	出 場 件 数	201	974	195	239	1,609
	搬 送 人 員	212	910	175	214	1,511
平成30年	出 場 件 数	151	1,034	232	207	1,624
	搬 送 人 員	153	964	225	180	1,522
平成31年	出 場 件 数	166	1,031	249	265	1,711
	搬 送 人 員	169	978	233	251	1,631
令和2年	出 場 件 数	138	985	239	210	1,572
	搬 送 人 員	138	930	234	186	1,488
令和3年	出 場 件 数	115	1,003	212	225	1,555
	搬 送 人 員	104	920	204	207	1,435
令和4年	出 場 件 数	127	1,247	256	229	1,859
	搬 送 人 員	109	1,139	237	197	1,682
令和5年	出 場 件 数	132	1,265	262	226	1,885
	搬 送 人 員	120	1,143	255	206	1,724
令和6年	出 場 件 数	134	1,261	246	261	1,902
	搬 送 人 員	126	1,151	225	248	1,750

(3) 月別救急出場状況

月別	事故種別 件数 人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
1	出場件数				18	2		19		1	119	16			1	176
	搬送人員				14	2		20		1	106	16				159
2	出場件数				11	2		17		1	97	16				144
	搬送人員	1			5	2		15			87	16				126
3	出場件数				12	4		22		2	90	16			2	148
	搬送人員				12	3		19		1	82	16				133
4	出場件数			1	6	1	1	16			110	13				148
	搬送人員				5	1	1	15			102	13				137
5	出場件数				11	5	1	14			80	16				127
	搬送人員				11	5	1	13			75	16				121
6	出場件数				15	2	2	32		3	91	12				157
	搬送人員				13	2	2	31		2	86	12				148
7	出場件数				11	3	1	18		1	135	24			2	195
	搬送人員				14	3	1	17		1	121	24				181
8	出場件数				9	1	1	28	1	1	120	20				181
	搬送人員				9		1	25	1		117	20				173
9	出場件数				12	3	1	19		1	101	12			1	150
	搬送人員				14	3	1	16			92	12				138
10	出場件数				12		2	20	2	1	96	13			1	147
	搬送人員				9		2	20	2	1	87	13				134
11	出場件数				8	3		28		2	92	24				157
	搬送人員				10	4		24		2	84	24			1	149
12	出場件数	1			9			13		1	130	17			1	172
	搬送人員				10	1		10		1	112	17				151
合計	出場件数	1		1	134	26	9	246	3	14	1,261	199			8	1,902
	搬送人員	1			126	26	9	225	3	9	1,151	199			1	1,750

(4) 時間別救急出場件数

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
時間別 内訳	0～2				1			8		2	70	1	82
	2～4				3	1		6		2	53	3	68
	4～6				2			5		2	64	1	74
	6～8				5	3		16			123	2	149
	8～10	1			18	2		33		1	156	27	238
	10～12				12	1	2	32	1	1	119	64	232
	12～14				17	5	1	35		2	142	43	245
	14～16			1	18	4	4	37		2	107	18	191
	16～18				25	6		29	2		112	32	206
	18～20				14	2	1	24		1	121	8	171
	20～22				10	1	1	17		1	94	7	131
	22～24				9	1		4			100	1	115
合計		1		1	134	26	9	246	3	14	1,261	207	1,902

(5) 現場到着所要時間

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	46	128	737	344	5	1,260
交通	6	26	85	17		134
一般負傷	10	31	136	68		245
その他	71	43	99	48		261
合計	133	228	1,057	477	5	1,900

(6) 収容所要時間

救急種別 \ 収容時間	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病 (うち管外)	3 (1)	80 (8)	242 (38)	700 (97)	119 (17)	7 (2)	1,151 (163)
交 通 (うち管外)		13 (9)	29 (20)	79 (49)	5 (2)		126 (80)
一 般 負 傷 (うち管外)		15 (4)	43 (8)	139 (25)	28 (2)		225 (39)
そ の 他 (うち管外)		39 (4)	71 (27)	105 (62)	31 (20)	2 (2)	248 (115)
合 計 (うち管外)	3 (1)	147 (25)	385 (93)	1,023 (233)	183 (41)	9 (4)	1,750 (397)

(7) 管内管外別救急搬送人員

事故種別 \ 居住別	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	計
管内に居住を有する者	1			46	12	3	186	1	8	988	108	1,353
管外に居住を有する者				80	14	6	39	2	1	163	92	397
そ の 他												
合 計	1			126	26	9	225	3	9	1,151	200	1,750

*その他の区分とは住所が判明しない者をいう。

4. 気象関係

警報・注意報発表回数

月別 種類		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
警 報	暴風								2					2
	大雨								1					1
	洪水													
	大雪													
	波浪													
	計								3					3
注 意 報	強風	11	10	17	4	5	4	1	6	5	7	5	8	83
	大雨					1		2	8		1			12
	波浪													
	洪水								4	1				5
	大雪		2	2										4
	雷	5	2	7	5	5	10	29	28	21	11	5	5	133
	乾燥	9	7	13	1								16	46
	濃霧	2	3	7	15	10	15	18	8	13	6	10	2	109
	霜				6	1						12		19
	低温	4	2	1									7	14
	着雪													
	高潮													
	風雪		1											1
	計	31	27	47	31	22	29	50	54	40	25	32	38	426
火災気象通報		18	18	26	6	10		3	5		31	30	31	178
合 計		49	45	73	37	32	29	53	62	40	56	62	69	607

5. 消防無線関係

(1) 消防用超短波無線電話装置

呼び出し名称	配 置	種 別	空中線電力	備 考
しょうぼうえんかくいばらきまち	指令室	基地局	2.5W	遠隔局
いばらきまちたんく1	署	移動局（車載）	5W	水槽付きポンプ車
いばらきまちぽんぷ1	〃	〃	〃	泡消火システム付 ポ ンプ車
いばらきまちきゅうじょ1	〃	〃	〃	救助工作車
いばらきまちこうほう1	本部	〃	〃	広報車
いばらきまちしき1	〃	〃	〃	指揮車
いばらきまちきゅうきゅう1	署	〃	〃	高規格救急車
いばらきまちきゅうきゅう2	〃	〃	〃	〃
いばらきまちきゅうきゅう3	〃	〃	〃	〃
いばらきまち201	〃	移動局（携帯）	2W	
いばらきまち202	〃	〃	〃	
いばらきまちたんく101	〃	〃	〃	
いばらきまちたんく102	〃	〃	〃	
いばらきまちぽんぷ101	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうじょ101	〃	〃	〃	
いばらきまちこうほう101	本部	〃	〃	
いばらきまちしき101	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう101	署	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう102	〃	〃	〃	
いばらきまちきゅうきゅう103	〃	〃	〃	
いばらきまちこてい1	〃	移動局	5W	
いばらきまち601	〃	移動局（可搬）	〃	